

1 行政評価制度の見直し案

【今年度】

① 評価の分類の見直し

- ・事業コストの方向性の分類の変更、 縮小・廃止の検討基準を設定(執行率6割未満)

② 行政評価システムの設定の見直し

- ・論理エラーの設定(執行率6割未満 & 拡充・現状維持→理由の記載が必須) など

③ 評価結果を人事課と共有(職員配置への活用を検討)

【令和8年度から実施(予定)】

① 財政部門と連携した所管課へのヒアリング

② 簡易評価を対象外

2 行政評価システムの再構築

- 新システムは、プログラミングの知識がなくても、業務のシステム化や効率化を実現することができるクラウドサービスで作成。 → 設定変更が容易。
- 今後は、システムのユーザビリティの向上を図るため、システム利用者である職員の意見をアンケート等により把握し反映していく

<主な変更点>

- ✓ コメント機能を追加
- ✓ 各課で必要な施策・事務事業の評価内容を一覧で出力可能
- ✓ 折れ線グラフ・円グラフでの出力可能
- ✓ 承認フローの設定が可能

1. グラフ機能でデータを見る化してみよう

まずは、おすすめのグラフから使ってみましょう。

アプリの一面面をクリック

グラフの種類を選んでクリック

必要な項目を設定して、「適用する」をクリック

評価シートの体裁の修正

修正前

令和 4年度杉並区事務事業評価表 (1)

令和 3年度 事務事業の概要 (Plan)

【問題点①】指標名と説明と実績値の欄が離れており見づらい

【問題点②】執行率等が羅列されているだけで傾向がつかみにくい

修正後

令和4年度 杉並区事務事業評価シート

【改善点①】指標名と説明と実績値の欄を近づけるよう配置しました

【改善点②】過去5年間の執行率をグラフで示し、推移を視覚的に把握しやすくしました

3 行政評価ダッシュボードの導入

➤ 区政の透明性をさらに高め、行政評価の取組に対する区民の理解を深めてもらうために、行政評価のデータをダッシュボードとして区の公式ホームページに掲載する(今年11月頃公表予定)

事務事業評価(イメージ)

杉並区

行政評価ダッシュボード案①

行政評価とは

施策

事務事業

373 新施策の促進

事業実施年度

2024年度

事業内容

○杉並区安全パトロール隊及び委託警備業者による防犯パトロールを実施する。
○安全パトロール隊員による防犯診断を実施する。○防犯自主団体の活動に要する物品の一部支給など、団体の自主的

執行率

成果指標①

成果指標②

特記事項

取組実績成果

要因・分析

事業の方向性改善策

予算の方向性理由・内容

<ポイント>

- ✓ 事業費の予算額・実績額・執行率、成果指標の計画・実績・達成率 をグラフ化し、経年のトレンドの把握が可能となることで、進捗状況や事務事業の効果等の把握が容易になる
- ✓ オープンデータとしての活用も可能